

Dreab



学年だより NO.12
川口市立青木中央小学校
第6学年
令和6年2月1日(木)

卒業に向けて

立春も間近に迫り、暦の上では春近しといったところですが、まだまだ吹く風は冷たく、春の訪れが待ち遠しい今日この頃です。

卒業に向けての準備が着々と始まっています。家族、友人、地域の方々、先生など、今までお世話になった方々へ「感謝」の気持ちを表し、卒業までの一日一日を大切に過ごしてほしいと考えております。よろしくお祈りいたします。



- | | |
|---|---|
| 国語：人を引きつける表現 海の命
思い出を言葉に
今、私は、ぼくは | 音楽：日本や世界の音楽に親しもう
音楽で思いを伝えよう |
| 社会：長く続いた戦争と人々の暮らし
新しい日本、平和な日本へ
日本とつながりの深い国々 | 図工：ドリームプロジェクト オルゴール
家庭：あなたは家庭や地域の宝物
体育：走り高跳び サッカー |
| 算数：算数の学習をしあげよう | 道徳：相互理解・寛容
公正・公平・社会正義 |
| 理科：私たちの生活と電気 | 礼儀 |
| 青木っ子：輝け マイ・フューチャー | 規則の尊重 |
| 外国語：UNIT9 | |

感謝の集い（児童謝恩会）・学年懇談会のお知らせ

- | | | |
|--------------------|-------|---------|
| ○日程 3月1日(金) 14:00～ | 開場 | ○場所 体育館 |
| 14:25～ | 感謝の集い | |
| 15:35～ | 学年懇談会 | |

今年は「児童謝恩会」から「感謝の集い」と名称を変更し、より温かく感謝を伝え合う会にできたらと思っております。「感謝の集い」に向け、子どもたち自身が企画・運営を行うため、試行錯誤しながら心を込めて準備を始めています。なお、子どもたち一人一人が保護者の皆様に感謝の気持ちを伝える場も設けます。多くの皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

参加の確認書を2月13日頃配布いたしますので、参加、不参加の旨をご記入いただき、2月20日(火)までに担任までご提出ください。よろしくお祈りいたします。

校外学習のお知らせ

日時：令和6年2月15日(木) 学校出発8:40 学校到着予定時刻17:15
日程：国会議事堂見学、日本科学未来館、そなエリア東京
持ち物：通学帽、名札、お弁当、レジャーシート、水筒(お茶類)、しおり
ハンカチ・ティッシュ、おしぼり、エチケット袋
筆記用具、雨具(折りたたみ傘)、ゴミ袋、酔い止め薬(必要な人)
下校は、体験学習等の関係から17時15分を予定しております。安全面を指導した上で、途中まで担任も付き添い下校しますが、可能な方は近くまでお迎えに来ていただけますようご協力の程お願いいたします。
※詳細は、後日配布されるしおりをご覧ください。

集金のお知らせ

【教材費】

引き落とし日：2月13日(火)
引き落とし金額：2,300円

- 4月に配布いたしました「令和5年度学年教材費集金予定について」の記載にある通り、今月の集金額は「2学期までの残高」と「3学期に必要な教材費」とを合わせて、不足金額分の集金となります。別途振替手数料10円がかかります。
- 年間の購入品・購入金額は、3月に配布される会計報告をご覧ください。
- 社会科見学科については、1人あたりの料金が確定後に「貼る連絡帳」にてお知らせします。

《6年生！ 青木っ子に非認知能力を育む 言葉かけチャレンジ》

①こんなとき、どうしますか？

勉強も宿題もなかなか始めない子どもの姿をみた経験はありませんか。

②POINT!

「宿題はやったの」とか「勉強しなさい」はNG!

③例えば

【Before】

「いつになったら宿題を始めるの？早くしなさい！」

Change

【After】

「何時頃宿題をやる予定かな？早くすますとあとで楽かもよ。」

⇒宿題は子どもの「課題」ですから、子どもに「いつ宿題をするか」決めてもらいます。決めたら本人に任せ、見守ってください。もちろん「早めにすませるとあとで楽だと思うのだけど、どうかな？」と提案してもOK!上からガミガミ言うのは控えて、子どもを信頼し「横の関係」で接してみてくださいね。
(「言葉かけ」練習帳 原田綾子著 日本能率協会マネジメントセンター)

デジタルデトックスの取り組みを2月15日～2月21日5日間(土日・祝日はのぞく)青木中学校期末テスト期間に合わせて実施します。(すくすくカードと同じ用紙です。この期間は毎日持ち帰ります。)

上記の日程で行います。メディア機器(テレビやゲーム機、パソコン、タブレット、スマートフォンなど)との付き合い方を考えるきっかけにさせていただきたいと思っております。ご協力をお願いいたします。実施方法などは「ほけんだより2月号」をご覧ください。